

平成30年度事業報告書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

目 次

1. 概況報告	1
2. 定時総会、理事会の開催に関する事業	1
1) 平成30年度定時総会の開催	1
2) 理事会の開催	1
3. 委員会の開催に関する事業	2
1) JAPAN PACK 実行委員会	2
2) 包装学校企画運営委員会	4
3) 広報推進委員会	5
4) IT委員会	7
5) ISO/TC313国内審議委員会	7
6) 技術委員会	8
4. 会員等諸会合の開催	9
1) 新年賀詞交歓会	9
2) 歳末特別講演会	9
3) 支部役員会・支部会の開催	9
5. 調査、各種情報事業等に関する事業	10
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査	10
2) 技術情報の収集・提供等	10
3) 各種情報の発信等	11
6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業	11
1) 包装学校事業	11
2) 青年部会	12
3) 各種セミナー・講習会	13
7. 国の施策に関する事業	14
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業	14
8. その他関連事業	14
1) 包装機械会館の運営に関する事業	14
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業	14
3) 福利厚生に関する事業	15
4) 関連産業との連携	15
9. 会員の現況	15
1) 入 会	15
2) 退 会	15
3) 会員登録の変更	15

1. 概況報告

わが国包装機械産業の平成29年度の生産実績は4,458億円で、対前年度比3.8%の高い伸びであった。平成30年度においても、機械統計（経済産業省）の生産高では暦年ベースで9.2%増（確報値ベース）、貿易統計（財務省）の輸出高も同様に13.7%増で推移しており、当初計画の4,529億円は達成できる見込みとなっている。

当会は平成24年4月1日に一般社団法人日本包装機械工業会としてリスタートし、公益目的支出計画を実施してきたが、平成29年度を以って完了した。本年度は、改めて事業の見直し等を図り、展示会事業をはじめとした収益事業の収益力強化を図るとともに、会員サービスの向上、また公益に資する事業の安定的な運営等、業界の発展と工業会の体制強化に努めた。

2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

1) 平成30年度定時総会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、定時総会を開催し、平成29年度事業報告案の審議・承認、平成30年度事業計画の報告を行った。また懇親会を開催し、会員の親睦を図るとともに情報交換を行った。

※平成30年度定時総会

月 日：平成30年5月29日（火）

会 場：鉄鋼会館 会議室（東京都中央区）

出席者：88名

2) 理事会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、平成30年5月、9月、12月、平成31年3月の計4回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況、役員の仕事執行状況等の確認・審議・承認を行い、本会事業の円滑な推進に努めた。

※第339回理事会

月 日：平成30年5月29日（火）

会 場：鉄鋼会館 会議室（東京都中央区）

※第340回理事会

月 日：平成30年5月29日（火）

会 場：鉄鋼会館 会議室（東京都中央区）

※第341回理事会

月 日：平成30年9月19日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※第342回理事会

月 日：平成30年12月4日（火）

会 場：サザンビーチホテル&リゾート沖縄 『あーがい』（沖縄県糸満市）

※第343回理事会

月 日：平成31年3月13日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

3. 委員会の開催に関する事業

事業計画に基づき、JAPAN PACK 実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報推進委員会、IT委員会、ISO/T C 3 1 3 国内審議委員会、技術委員会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

1) JAPAN PACK 実行委員会

JAPAN PACK 2019 実行委員会(委員長: 亀田稔氏 トキワ工業株式会社社長)は、本年(平成31年)10月におけるJAPAN PACK 2019(日本包装産業展)の開催にあたり、主に以下の本委員会活動を推進して開催準備等に努めた。

※出展・来場・会場3WG第1回合同会議

月 日：平成30年5月8日(火)

会 場：包装機械会館

- 内 容：1) 各ワーキンググループの取り組み方針について
2) 出展社勧誘にかかる今後の討議ポイント(案)について
3) 出展社勧誘用チラシおよび出展案内の作成・運用方法について

※展示会行事 WG 第1回会議

月 日：平成30年5月17日(木)

会 場：自習室うめだのセミナールーム

- 内 容：1) 出展・来場・会場3WG第1回合同会議の報告事項について
2) 今後の活動計画の推進について

※第5回正副実行委員長会議

月 日：平成30年5月29日(火)

会 場：包装機械会館

- 内 容：1) JAPAN PACK 2017(前回展)の最終収支について(報告事項)
2) ポスター・実行委員名刺の作成について(報告事項)
3) 展示会名称(日本国際包装機械展)の変更検討について
4) 各WGの活動報告および役割分担の再確認について
5) 次回(第6回)正副実行委員長会議の開催について

※出展・来場・会場3WG第2回合同会議

月 日：平成30年7月4日(水)

会 場：包装機械会館

- 内 容：1) 出展勧誘フライヤーの進捗について(報告事項)
2) 出展案内概要案について
3) 分野別出展勧誘グループの編成について
4) ライン展示方法の検討について

※第6回正副実行委員長会議

月 日：平成30年7月18日(水)

会 場：日本料理 たけむら

- 内 容：1) QRコード活用結果について

- 2) 各ワーキンググループ等活動報告および今後の活動計画について
- 3) 出展料割引について

※展示会行事WG第2回会議

- 月 日：平成30年7月25日（水）
会 場：貸し会議室：Kyoto de meeting
内 容：1) 出展・来場・会場3WG第2回合同会議について【報告事項】
2) 今後の併催行事進捗フロー等について
3) 次回（第3回）展示会行事WGの開催について

※開催概要記者発表会

- 月 日：平成30年9月13日（木）
会 場：包装機械会館
内 容：1) 展示会日本語名称の変更と、関連業界の直近の動向と課題について
2) テーマと新ロゴの発表、開催日程、会場変更などについて
3) 出展申込期間、出展料、募集対象などについて
4) 質疑応答

※第7回正副実行委員長会議

- 月 日：平成30年9月25日（火）
会 場：包装機械会館
内 容：第2回実行委員会の開催について（事前打ち合わせ）

※第2回実行委員会

- 月 日：平成30年9月25日（火）
会 場：包装機械会館
内 容：1) 各ワーキンググループ活動報告
2) JAPAN PACKアプリ（仮称）等について
3) 出展勧誘活動方針（案）について

※展示会行事WG第3回会議

- 月 日：平成30年11月21日（水）
会 場：生田神社会館
内 容：1) 各種活動報告
2) JP19各種併催行事案の課題と改善策について
3) 次回（第4回）展示会行事WGの開催について

※来場者勧誘WG第1回会議

- 月 日：平成30年11月29日（木）
会 場：包装機械会館
内 容：1) 活動報告（JP19出展申込状況、来場者向フライヤー）
2) 招待状（一般、VIP）の早期作成・運用について
3) 初日来場者促進企画案について
4) ライン展示コーナー企画案について
5) 来場者勧誘WG次回（第2回）会議について

※第8回正副実行委員長会議

月 日：平成31年2月13日（水）

会 場：包装機械会館

内 容：1) 第2回実行委員会の開催について（事前打ち合わせ）
2) 小間割基本方針について
3) 事前登録システムの概略案について
4) 出展社説明会の開催概要について
5) 次回（第4回）実行委員会の開催について

※第3回実行委員会

月 日：平成31年2月13日（水）

会 場：包装機械会館

内 容：1) 出展申込状況および各WG・事務局活動実績について（報告事項）
2) ライン展示企画（実機／パネル）について
3) 目標へ向けた出展勧誘活動ラストスパートについて
4) 次回（第4回）実行委員会の開催について

※来場者勧誘WG第2回会議

月 日：平成31年2月13日（水）

会 場：包装機械会館

内 容：1) 来場者招待状制作計画について
2) VIPの登録方法について

※会場WG第1回会議

月 日：平成31年2月13日（水）

会 場：包装機械会館

内 容：1) 出展規程の主な改定項目案について
2) JAPAN PACK 2019小間割調査票原案について
3) 次回（第2回）会場WGの開催について

※展示会行事WG第4回会議

月 日：平成31年2月13日（水）

会 場：包装機械会館

内 容：1) 各種併催行事の進捗について
2) 次回（第5回）展示会行事WGの開催について

2) 包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会（委員長：一岡 幹朗氏 大森機械工業株式会社 上級執行役員）は、本年6月から開講の第45期包装学校ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、下記の委員会活動を推進した。

※第97回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成30年6月6日（木）

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：オリエンテーションテーマ決定及び修了生フォローアップ（人材育成体系）の検討。

※第98回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成30年11月13日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：来期カリキュラムの見直しとスケジュールの決定。

※第99回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成31年2月12日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：ディスカッションテーマの決定及びジャパンパック2019（人材育成に関するパネルディスカッション）企画の検討。

3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：山本治男氏 株式会社東京自働機械製作所社長）は、以下の本委員会活動を通じて、国内外に向けて日本包装機械工業会（ジャパンプランド）を広くアピールし、関連業界等の連携強化を図りながら当工業会ならびに会員企業の価値向上に繋がるための活動推進に努めた。

※第4回広報推進委員会

月 日 平成30年4月10日（火）

会 場 包装機械会館

内 容 活動実施報告、日本包装機械工業フォーラム2018開催概要とプログラムについて、日立製作所大みか事業所見学会について

※第5回広報推進委員会

月 日 平成30年6月13日（水）

会 場 東京国際展示場（東京ビッグサイト）

内 容 日本包装機械工業会フォーラム2018プログラムについて、分野別活動スケジュールについて

※学内ミニ合同企業説明会

月 日 平成30年6月26日（火）

会 場 東京工科大学八王子キャンパス

内 容 東京工科大学の学生が企業ブースを訪れ、参加企業の会社概要や今後のエントリー・選考試験等について聞くとともに、質疑応答等を行う。

参加企業：13社 / 参加者：学生12名 教員11名

※(株)クレハ樹脂加工事業所、(株)日立製作所大みか事業所 IoT ライン見学会

月 日 平成30年7月3日（火）

会 場 1) (株)クレハ樹脂加工事業所

2) (株)日立製作所大みか事業所

内 容 上記1)、2) 両事業所の見学会

※第6回広報推進委員会

月 日 平成30年8月28日（火）

会 場 包装機械会館

内 容 活動実施報告、日本包装機械工業会フォーラム 2018 プログラム・聴講料・委員担当について、分野別活動スケジュールについて、JAPAN PACK 2019 講演会について、新媒體のコンテンツ案について

※第 2 回包装関連業界説明会

月 日 平成 30 年 10 月 24 日 (水)

会 場 東京工科大学八王子キャンパス

内 容 就職活動を控えた工学部 3 年生に対し、工業会および各参加企業の事業内容等を紹介し、包装関連業界に興味を持ってもらう。

発表企業：4 社 / 参加者：東京工科大学工学部 3 年生約 170 名

※日本包装機械工業会フォーラム 2018

月 日 平成 30 年 10 月 31 日 (水)

会 場 UDX ギャラリーネクスト

内 容 1) 食品関連セミナー 聴講者：99 名

第 1 部 テーマ：食品ロス削減に向けて

講演者：農林水産省 齋藤 典久 氏

第 2 部 テーマ：製品設計における包装設計の考え方と環境課題への取り組み

講演者：味の素(株) 金子 晴海 氏

第 3 部 テーマ：惣菜カテゴリーにおける新包材への取り組み

講演者：(株)ファミリーマート 富樫 信人 氏

2) 生産性向上セミナー 聴講者：69 名

第 1 部 テーマ：製造業を巡る大変革と政策課題

講演者：経済産業省 長谷川 洋 氏

第 2 部 テーマ：現場データを利活用する日立的スマートなファクトリー

講演者：(株)日立製作所 谷口 敬樹 氏

第 3 部 テーマ：労働力不足を解消したロボットシステムの導入事例

講演者：(株)ニッコー 佐藤 一雄 氏

3) 医薬品関連セミナー 聴講者：45 名

第 1 部 テーマ：IoT 技術を活用した医薬品包装と遠隔診療のパラダイムシフト

講演者：静岡県立大学大学院 並木 徳之 氏

第 2 部 テーマ：日本版 GDP ガイドラインを考慮した医薬品の輸送品質対応

講演者：エーザイ(株) 池松 康之 氏

第 3 部 テーマ：医薬品の偽造防止「包材・RFID」周辺の最新技術

講演者：凸版印刷(株) 松本 博 氏

※包材関連セミナー 聴講者：37 名

月 日 平成 30 年 11 月 14 日 (水)

会 場 包装機械会館

内 容 第 1 部 テーマ：「DNP の『未来のあたりまえをつくる』パッケージ」
～環境包材から ICT パッケージまで～

講演者：大日本印刷(株) 高森 寛子 氏

第 2 部 テーマ：「紙でできることは紙で」

～社会課題解決に向けた当社の取組み～

講演者：日本製紙㈱ 内村 元一 氏

※第7回広報推進委員会

月 日 平成30年11月20日（火）

会 場 包装機械会館

内 容 活動実施報告、JAPAN PACK 2019 各種講演会・セミナーについて、新メディアコンテンツについて

※第8回広報推進委員会

月 日 平成31年2月14日（木）

会 場 包装機械会館

内 容 次年度計画案について、新メディア発行による機関紙刷新計画について、第2回学内ミニ合同企業説明会について、JAPAN PACK 2019 各種講演会・セミナーについて

※海外展示会における工業会活動PRの推進

○ProPak Asia 2018日本パビリオン

会 期 平成30年6月13日（水）～16日（土）4日間

会 場 BITEC（タイ・バンコク）

規 模 13社・団体・384㎡

○第76次PACK EXPO International 2018 視察団

期 間 平成30年10月13日（土）～18日（木）6日間

会 場 McCormick Place（アメリカ・シカゴ）

参加者 26名

※工業会事業案内 平成30年3月作成

※調査報告書『包装機械分野における海外調査』 平成30年3月発行

4) IT委員会

IT委員会（委員長：結城喜世貴氏 株式会社ユーキ社長）は当会ホームページを逐次リニューアルし、当会会員企業、ユーザー業界をはじめ広く一般に対して、当会の各種事業・情報ならびに関係官公庁からの各種情報の速やかな提供に努めた。

併せて、JAPAN PACK 2019の出展社募集の公式サイト（和文、英文、中文）を立ち上げ、国内外に向けて同展への出展勧誘に努めた。また来場者用のスマホアプリの検討を行った。

5) ISO/TC313国内審議委員会

昨年度に引き続き、イタリアから提案された包装機械におけるEN415規格のISO化（ISO/TC313）に伴い、長岡技術科学大学の福田教授（システム安全専攻）を委員長に国内審議委員会活動及び国際会議への参加を実施した。

※ISO/TC313国際会議

月 日：平成30年10月10日（水）、11日（木）

会 場：イタリア／ミラノ

内 容：ISO/TC313の全体会議（福田委員長、以下大森機械工業㈱2名、

(株)フジキカイ 2名参加)

※第二回 I S O 国内審議委員会

月 日：平成30年11月19日(月)

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：国際会議報告及び各業界団体オブザーバーからのアドバイス、等。
WG1国際会議（EN415-10包装機械の一般事項のISO化
ワーキング会議）に向けての意見出し作業を実施。

※第二回WGリーダー委員会

月 日：平成30年12月27日(木)

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：WG1国際会議への提案書まとめ作業を実施。

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：平成31年1月16日(水)、17日(木)

会 場：ドイツ/マンハイム

内 容：WG1国際会議（大森機械工業(株)1名、(株)フジキカイ1名参加)

※ISO/TC313/WG1打合せ

月 日：平成31年2月19日(火)

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：ISO/TC313/WG1国際会議の出張報告及び今後のスケジュール
の確認を実施した。

6) 技術委員会

技術委員会（委員長：伊早坂 嗣氏 株式会社川島製作所社長）は、技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定した上で、包装機械を取巻く環境変化への対応や産学・産産連携、講演会・セミナー等を計画し実施した。

※第1回技術委員会

月 日：平成30年4月25日(水)

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：平成30年度活動計画（産学・産産連携、講演会・セミナー等）の
実施を審議。

※第2回技術委員会

月 日：平成30年7月19日(木)

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：(一社)日本食品包装協会シンポジウム・勉強会企画委員会と
「包装機械と包装材料との適合性について」意見交換を実施。

※第3回技術委員会

月 日：平成30年9月13日(木)

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：AI商品説明会（富士通エレクトロニクス(株)、日本システムウェア(株)を
招聘）を実施。

※第4回技術委員会

月 日：平成30年11月1日（木）

会 場：東京都立産業技術研究センター（テレコムセンター）会議室

内 容：東京都立産業技術研究センターIoT支援サイト見学及び意見交換会を実施。

※第5回技術委員会

月 日：平成30年12月12日（水）

会 場：全国印刷工業健康保険組合 7F会議室

内 容：計量法改正周知についての意見交換及びジャパンパック2019企画（アワード開催や主催者技術セミナー、等）の検討を実施。

※第6回技術委員会

月 日：平成31年2月19日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：ISO/TC313国際会議対応やジャパンパック2019企画、東京都立産業技術センターIoT研究会、等の2019年度技術委員会計画案の審議を実施。

4. 会員等諸会合の開催

平成30年度事業計画に基づき、総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部役員会・支部会を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努めた。

1) 新年賀詞交歓会

平成31年1月18日（金）に関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、当会と株式会社日本包装リース合同主催の平成31年新年賀詞交歓会を開催した。

月 日：平成31年1月18日（金）

会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

出席者：485名

2) 歳末特別講演会

事業計画に基づき、平成30年度歳末特別講演会を沖縄で開催した。

※平成30年度歳末特別講演会

月 日：平成30年12月4日（火）

会 場：サザンビーチホテル&リゾート沖縄

『コーラルイースト』（沖縄県糸満市）

テーマ：「沖縄経済の現状と将来に向けた取組状況」

講 師：内閣府 沖縄総合事務局 事務局長 能登 靖氏

出席者：57名

3) 支部役員会・支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として関東支部役員会・支部会、関西支部役員会・支部会、中部支部役員会・支部会を開催し、平成30年度事業報告案ならびに平成31年度事業計画案について報告を行い、併せ

て、会員企業からの意見・要望を聴取し、平成31年度事業計画への反映に努めた。

※第58回関西支部会

月 日：平成31年3月5日（火）

会 場：フォーチュンガーデン京都（京都市中京区）

出席者：33名

※第41回中部支部会

月 日：平成31年3月6日（水）

会 場：ウルフギャング・パック カフェ 愛知芸術文化センター店（名古屋市）

出席者：13名

※第40回関東支部会

月 日：平成31年3月8日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

出席者：37名

5. 調査、各種情報事業等に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の市場調査をはじめ、技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、包装機械新聞・ウェブサイト・メール等を通じ、広く一般に公開しわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した。

1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカー約420社に対して、平成29年度の生産高と輸出入高ならびに平成30年度の生産計画に係るアンケート調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

2) 技術情報の収集・提供等

(1) 技術センター事業

技術センターの事業として、包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進に努めた。

また、機械安全・CEマーキング等の相談に対応した。安全・衛生指導事業は今後も継続する。

(2) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」（日本語版）を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布を継続した。

尚、英語版は平成29年2月中旬で販売を中止している。

(3) 旅費・アフターサービス料金に関するアンケート調査

平成26年度に引き続き、旅費・アフターサービス料金に関するアンケート調査を実施した。

(4) 各種資料・情報の収集・公開

国内外の包装機械関連の技術情報、規格および統計資料等の収集を行い、当会機関紙「包装機械新聞」等を通じて会員企業をはじめ広く一般に公開した。

3) 各種情報の発信等

(1) 機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業

当会機関紙「包装機械新聞」を毎月1回（15日）発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

(2) 電子媒体の活用に関する事業

IT委員会での決定に基づき、日包工・ジャパンパックのウェブサイトでの情報発信をはじめ、メールを通じ、関連省庁からの周知依頼、当会ならびに関連団体の行事等の情報の発信に努めた。また「インターネット製品PRコーナー（日本語・英語・中国語）」の掲載を通じ、会員企業製品の需要喚起に努めた。

6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業

1) 包装学校事業

わが国包装機械メーカーの若手技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象とした第45期包装学校を開講した。本年度は、平成30年6月の開講式・オリエンテーションから平成31年3月の修了式まで、包装機械設計・パッケージングエンジニア・マイクロコンピュータ制御技術の各講座を通じて、包装機械業界およびユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第45期までの修了者は4,747名となり、包装機械業界はもとよりユーザー業界からは、包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

※第45期包装学校の課程別受講生（計111名）

- 1) 包装機械設計技術専門課程 53名
 - 2) パッケージングエンジニア専門課程 51名
 - 3) マイクロコンピュータ制御技術専門課程 7名
- ①Visual Basic 講座 ②C言語講座 ③PLCメカトロ制御講座

【第1期から第45期までの受講生数、修了者数】

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数（人）		修了者数（人）	
	45期	1～45期計	45期	1～45期計
1. 包装機械設計技術課程	53	2,747	52	2,676
2. パッケージングエンジニア課程	51	1,980	50	1,886
3. マイコン制御技術課程	7	274	4	185
合計	111	5001	106	4,747

注) マイコン制御技術課程の修了者数は3講座受講した場合のみ。

※第45期包装学校開講式・オリエンテーション

月 日：平成30年6月21日（木）～22日（金）

会 場：天の丸 会議室（愛知県蒲郡市）

2) 青年部会

わが国包装機械産業の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会（部会長：川西能久氏 大和製衡株式会社副社長）は、以下の事業実施等を通じて会員相互の研鑽に努めた。

※第65回幹事会

月 日：平成30年5月15日（火）
会 場：包装機械会館
内 容：平成30年度事業計画書（案）の確認について

※平成30年度定時総会

月 日：平成30年5月15日（火）
会 場：包装機械会館
内 容：1) 平成29年度事業報告書（案）の承認について
2) 任期満了に伴う役員の変更について
3) 平成30年度事業計画書（案）の承認について

※講演会

月 日：平成30年5月15日（火）
会 場：包装機械会館
講 師：山中 勤 氏 株式会社伍魚福 代表取締役社長
主 題：神戸で一番おもしろい会社を目指して ～経営者としての試行錯誤～

※夏季セミナー

月 日：平成30年8月22日（水）～23日（木）
会 場：ベルエールの森（群馬県吾妻郡）
テーマ：青年部会の歴史、メリット・デメリット、将来について
（ディスカッション）

※関西国内工場見学会

月 日：平成30年10月26日（金）
会 場：日本テクノロジーソリューション本社工場

※第66回幹事会

月 日：平成30年10月30日（火）
会 場：包装機械会館
内 容：1) 本年度事業報告および事業計画について
2) 次年度定時総会について
3) 次年度青年部会組織体制について
4) 青年部会規程の再考について

※正副部会長会議

月 日：平成31年1月17日（木）
会 場：包装機械会館
内 容：1) 次年度役員体制（案）について
2) 次年度事業別役割分担（案）について

3) 青年部会規定の見直しについて

※新年情報交換会

月 日：平成31年1月17日（木）
会 場：日本橋茅場町 鳥徳

※第67回幹事会

月 日：平成31年2月13日（水）
会 場：包装機械会館
内 容：1) 平成30年度事業報告書（案）の承認について
2) 次年度役員体制（案）について
3) 次年度事業別役割分担（案）について
4) 次年度事業計画（案）の承認について
5) 新規入会について

※日本製パン製菓機械工業会青年部との業界情報交換会

月 日：平成31年2月13日（水）
会 場：うすけばー 昭和通り日本橋店

※中部国内工場見学会・情報交換会

月 日：平成31年3月11日（月）
会 場：三菱重工MR J MUSEUM / 尾張名古屋の台所「山」

※青年部会名簿の体裁刷新および電子版発行

3) 各種セミナー・講習会

(1) 技術関連セミナー

※「自社製品の国際化対応に向けた知識」セミナー（東京会場）

月 日：平成30年8月1日（水）
会 場：包装機械会館 会議室
演 題：「自社製品の国際化対応に向けた知識」
講 師：株式会社フジセーフティ・サポート 代表取締役 藤ノ木修二氏

※「自社製品の国際化対応に向けた知識」セミナー（大阪会場）

月 日：平成30年9月4日（火）
会 場：大阪商工会議所 4F 会議室
演 題：「自社製品の国際化対応に向けた知識」
講 師：株式会社フジセーフティ・サポート 代表取締役 藤ノ木修二氏

※第二回計量法改正説明会

月 日：平成30年12月12日（水）
会 場：全国印刷工業健康保険組合 7F 会議室
演 題：「計量行政審議会答申をふまえた計量制度の見直しについて」
講 師：経済産業省 産業技術環境局 計量行政室 統括係長 濱田未来子氏

(2) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会の開催

日本包装機械工業会は、(一社)安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会を開催した。

職業能力開発総合大学校(東京都小平市)

- ① 機械の安全化と国際安全規格編 (2日)
平成30年11月1日、2日
- ② 機械安全におけるリスク低減編 (2日)
平成30年12月5日、6日
- ③ リスクアセスメントの実践と妥当性確認編 (2日)
平成31年1月22日、23日
- ④ 電気制御システム編 (2日)
平成31年3月6日、7日

(3) IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会の開催

平成30年度事業で開催するために、高度ポリテクセンターと協議し下記日程で開催した。

関東会場	高度ポリテクセンター	平成30年11月14日、15日 平成30年11月19日、20日
関西会場	ポリテクセンター関西	平成31年 2月27日、28日

7. 国の施策に関する事業

1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

当会は平成28年7月にスタートした中小企業等経営強化法の証明書発行団体として、平成28年8月から証明書の発行を開始し、累計の発行数は4,680通で、その内訳は正会員3,232通、賛助会員478通、非会員970通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。

本年度の証明書発行(2,045通)の内訳は次の通りである。

正会員	1,413通(証明書発行手数料は1通に付 2,000円)
賛助会員	209通(同上)
非会員	423通(証明書発行手数料は1通に付 10,000円)

8. その他関連事業

1) 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに本年度より新たに会員向けサービスが拡充された、出資業務・アドバイザー業務などの利用促進に努めた。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努めた。

3) 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。

4) 関連産業との連携

包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの産業連携をはじめ、官民連携も推進し、包装機械業界の発展に努めた。

(1) (一社) 日本食品包装協会との連携

(一社) 日本食品包装協会の「食品包装検定」に協賛し、当会館で検定試験を実施した。

(2) 東京工科大学工学部との連携

包括連携協定を締結している東京工科大学工学部と協同で「包装関連業界説明会」ならびに「学内ミニ合同企業説明会」を実施した。

(3) (一社) 日本粉体工業技術協会との連携

(一社) 日本粉体工業技術協会との共同企画書の締結に基づき、ジャパンパック及び国際粉体工業展東京との包装セミナーの開催及び関連企画を実施した。

(4) CLOMAへの加入

地球規模の新たな課題である海洋プラスチックごみの問題に対する官民連携「CLOMA (クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス)」に加入した。

9. 会員の現況

平成31年3月31日現在の会員数は正会員138社、賛助会員119社、合計257社となっている。平成30年度の入会、退会の状況は次の通りである。

1) 入 会

<正会員 1社>

エヌエス技研株式会社

<賛助会員 10社>

株式会社安川電機、大阪硝子株式会社、株式会社ヨシダキカイ、テラダ・トレーディング株式会社、伊藤敏株式会社、株式会社旭プレシジョン、株式会社新盛インダストリーズ、エスコグラフィックス株式会社、三橋商事株式会社、ピアブ・ジャパン株式会社

2) 退 会

<賛助会員 3社>

ロックウェルオートメーションジャパン株式会社、竹菱株式会社、ヒサゴ株式会社

3) 会員登録の変更

ヒサゴ株式会社 (旧・フジプラ株式会社)

B&R 株式会社 (旧・B&R Industrial Automation 株式会社)

王子ホールディングス株式会社 イノベーション推進本部 (旧・王子コンテナ株式会社)